資料５

第13回東北中央自動車道の利活用促進による地域活性化協議会

【利活用促進の取組状況報告】

令和８年１０月



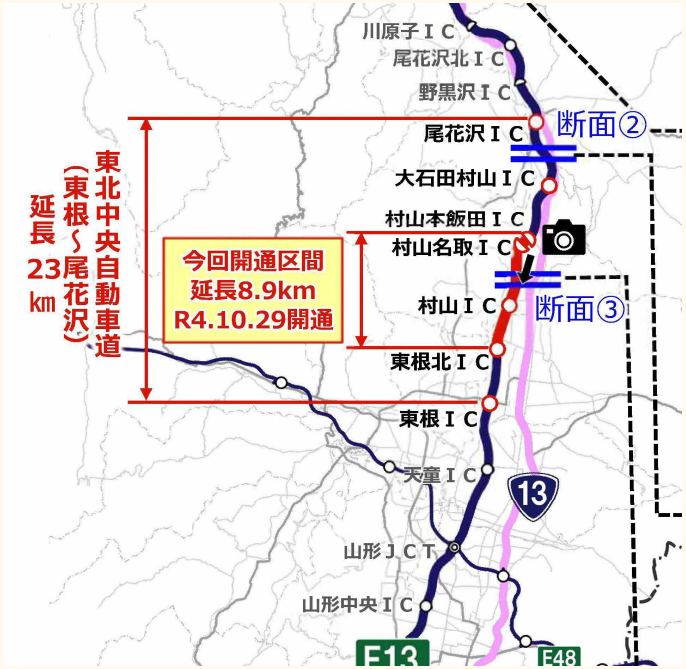
村山市

１．新道の駅整備に係る検討経緯について

東北中央自動車道・村山ICの開通による交通環境の変化を見据えて以下の検討を開始

- ＩＣ近傍における休憩施設整備の必要性
- 国道13号の交通量減少が想定されたことから、現道の駅「むらやま」の今後のあり方

〈東北中央自動車道全線開通後の交通状況〉※【開通前】令和４年9月【開通後】令和４年11月の計測値



- ✓ 全線開通後、東北中央自動車道と国道13号を合わせた交通量は約1.2倍増加
- ✓ 国道13号のみの交通量は、約3割減少



出典：国土交通省山形河川国道事務所 記者発表資料
「東北中央自動車道（東根～尾花沢）～全線開通後の交通状況について（速報）～」（令和４年12月7日）

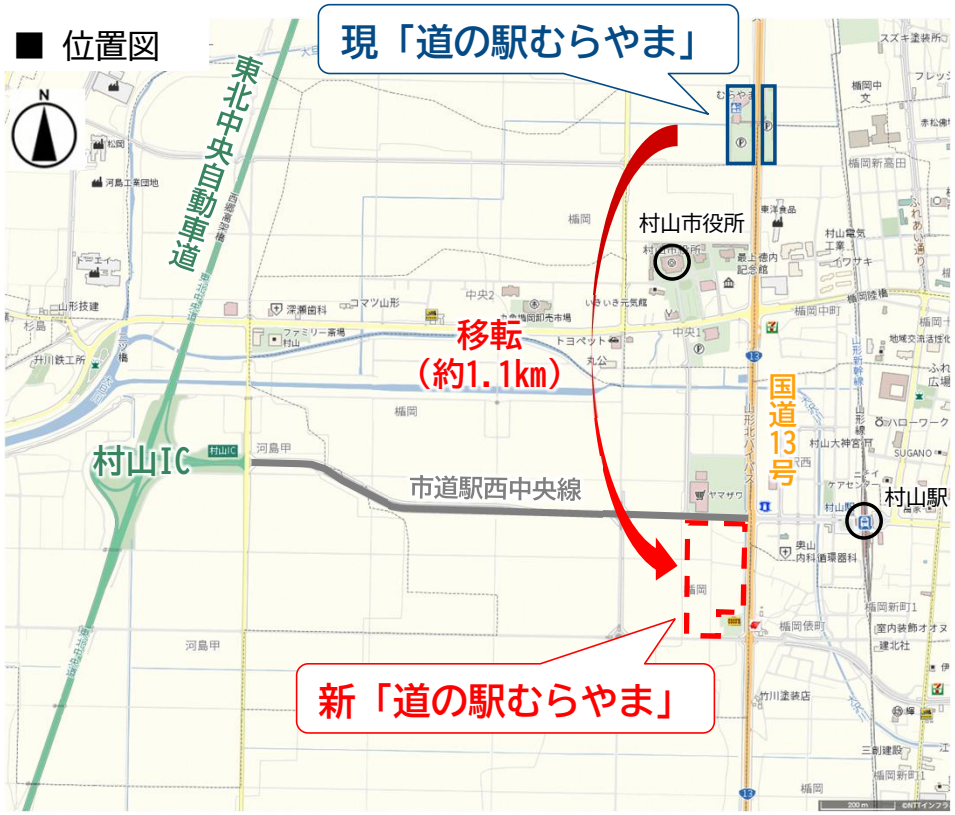
1．新道の駅整備に係る検討経緯について

平成27年（2015年） 8月

「村山ＩＣ周辺休憩施設整備基本構想」策定

・・・ 整備候補地として現在の整備予定地（国道13号と市道駅西中央線の交差部）を選定

■ 位置図



■ 整備予定地



画像出典：「© NTTインフラネット」「©NTT InfraNet.©Vantor. ©NTT DATA Japan Corporation.」を加工して作成

１．新道の駅整備に係る検討経緯について



平成27年（2015年） 8月

「村山ＩＣ周辺休憩施設整備基本構想」策定
・・・ 整備候補地として現在の整備予定地（国道13号と市道駅西中央線の交差部）を選定

平成29年（2017年） 3月

「『新』道の駅むらやま基本構想」策定
・・・ 新たな道の駅が担うべき役割を、「交通」「観光」「交流」の拠点化と整理

令和2年（2020年） 8月～9月

村山市「道の駅」移転事業に向けたサウンディング型市場調査
・・・ 官民連携により新たな道の駅をより魅力ある施設とするため、
民間事業者の参画に係る市場性を確認し、
その後の事業推進に向けた参考にすることを目的に、民間事業者との対話を実施

令和4年（2022年） 7月～ 令和6年（2024年） 3月

新「道の駅むらやま」整備基本計画検討市民会議
・・・ 市内団体の代表者や有志により、
新たな道の駅の目指す姿や、導入すべき機能・施設等について議論を実施

令和6年（2024年） 3月

「新『道の駅むらやま』（仮称）整備基本計画」策定

・・・ 新たな道の駅の施設整備に向けたコンセプトや導入機能、事業手法について整理

2．新「道の駅むらやま」（仮称）整備基本計画について

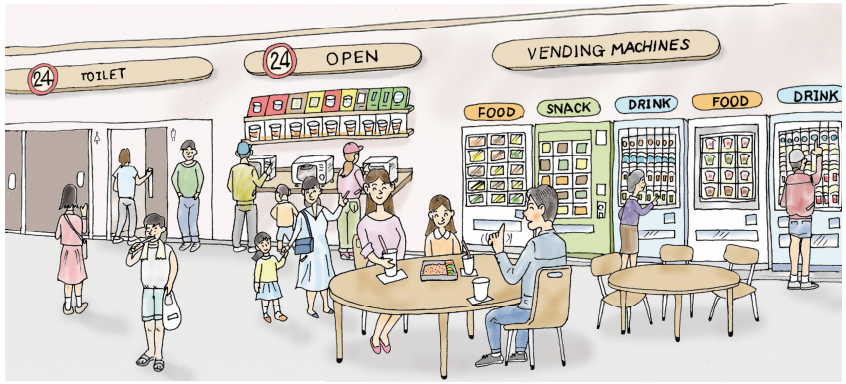
＜ とまる ＞

利用者が足をとめて
村山市の魅力を体感できる道の駅。



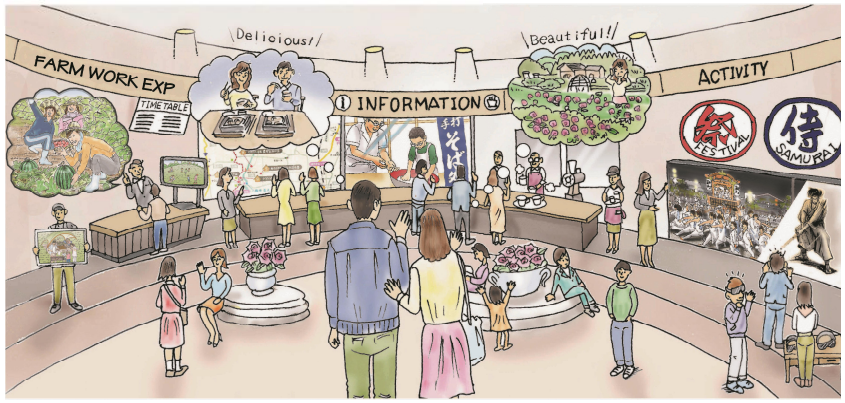
＜ やすらぐ ＞

交通の要衝として、
ドライバーやご家族の休憩場所として選ばれる道の駅。



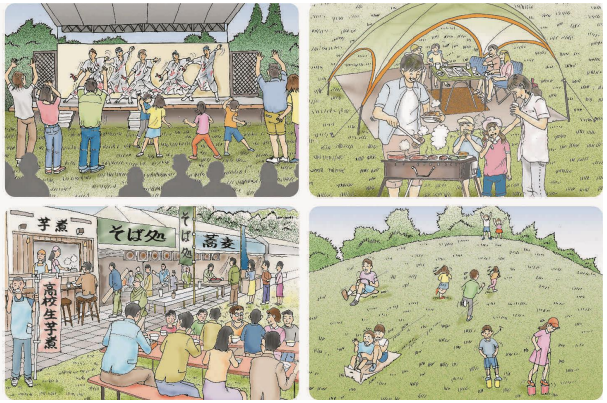
＜ めぐる ＞

村山市の魅力を見て知ってもらう
旅の出発地となる道の駅。



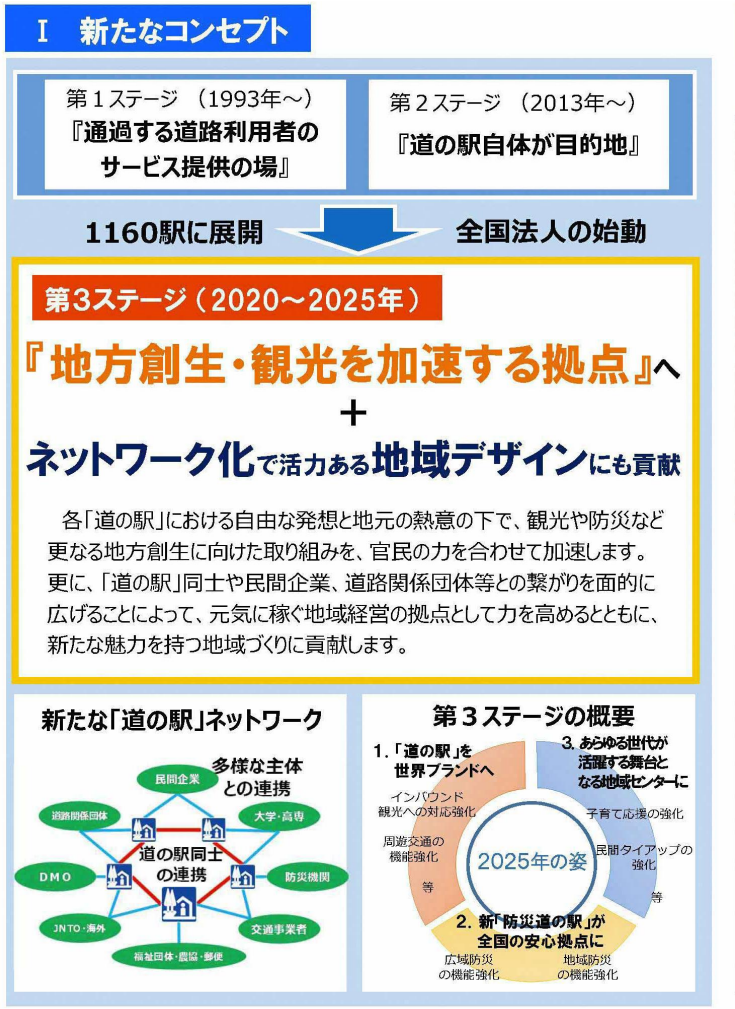
＜ みつける ＞

希望に満ちた、これからの村山市に繋がる
新たな賑わいの拠点となる道の駅。



2．新「道の駅むらやま」（仮称）整備基本計画について

「第３ステージ」を目指し、道の駅をリニューアルする取組として国土交通省より選定





3．現在の取組状況及び開業に向けた予定について

新・道の駅むらやま　整備計画平面図

➢ 敷地面積：約43,000㎡　建物面積（施設内）：約2,600㎡



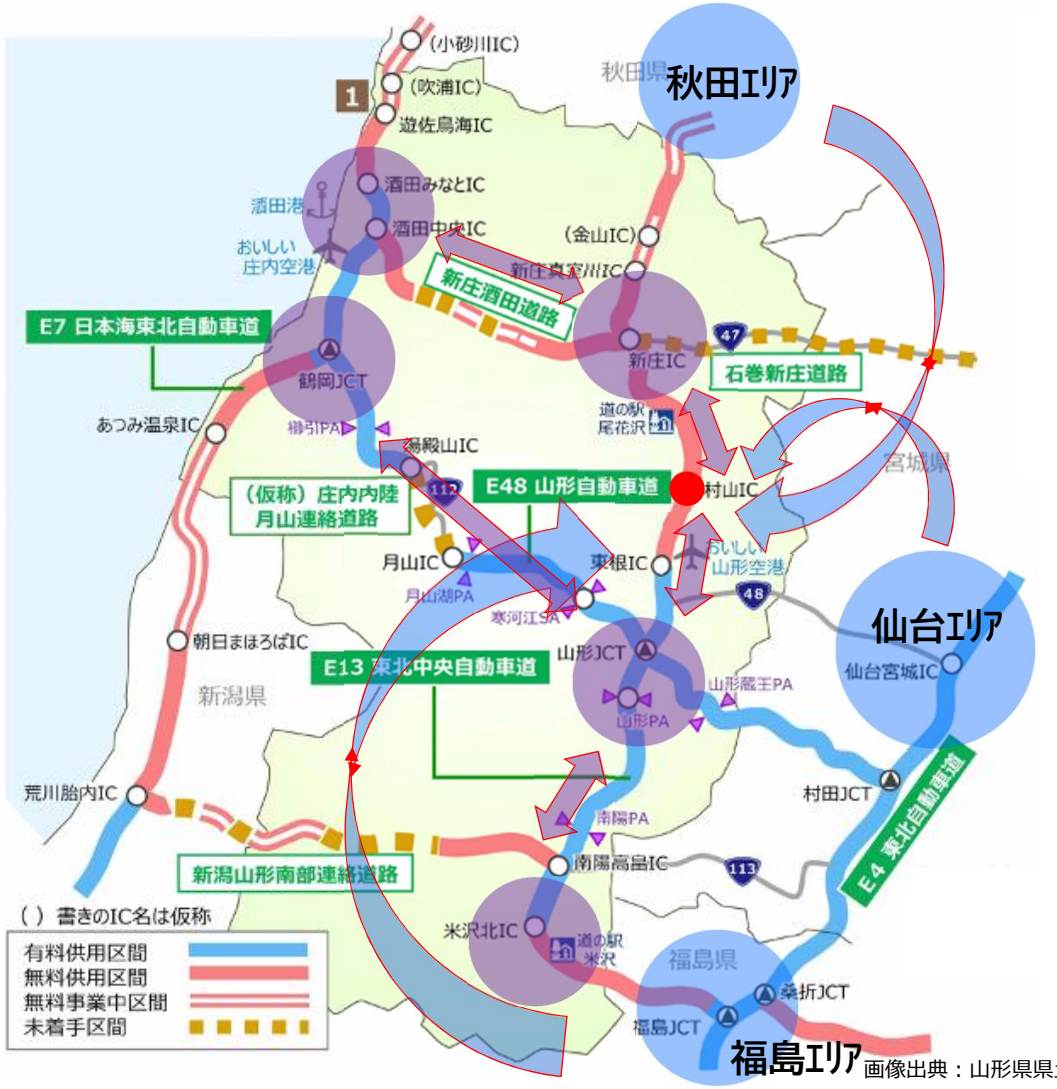
〈地域振興施設棟〉

- 産直・物販施設（約600㎡）
- 飲食施設（約280㎡）
- トイレ
- バックヤード
- 事務室等

〈道路休憩施設棟〉

- 道路観光情報コーナー（子どもコーナー含む）
- 24hトイレ
- ベビールーム
- 24hフードコート（自動販売機等）

3．現在の取組状況及び開業に向けた予定について



■ 広域観光ルートの構築

■ 東北中央自動車道
村山ＩＣ利用者の取り込み

画像出典：山形県県土整備部「山形県の高規格道路の開通状況」(令和7年9月26日)を加工して作成

３．現在の取組状況及び開業に向けた予定について

令和１１年度のグランドオープンに向けて、今後も円滑な事業推進に努めてまいります！

令和８年度（2026年度）	令和９年度（2027年度）	令和10年度（2028年度）	令和11年度（2029年度）
建築 基本・実施設計 ※市・建築設計者・運営事業者の三者間調整会議を実施中			
土木 実施設計			
	駐車場・緑地工事		
		建築工事 外構・広場工事	
			開業準備

【令和11年度】
新道の駅
グランド
オープン
（予定）

〈現場の様子〉2026.5月末時点

